

# 出穂早く、猛暑が続く予報！きめ細かな水管理を！ 斑点米カメムシ類多い！防除対策を徹底！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

出穂が早まっている中、猛暑が続く見込みです！きめ細かな水管理の徹底で、高品質米に仕上げましょう！

斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。2回の基本防除を徹底しましょう。

## ◎ 今後の気象

7月29日発表の1か月予報（7月31日～8月30日）では、暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は高く、特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

(気象庁HP)

山形県の天気予報（6日先まで）								
2021年08月02日05時 山形地方気象台 発表								
日付	今日 02日(月)	明日 03日(火)	明後日 04日(水)	05日(木)	06日(金)	07日(土)	08日(日)	
山形県	晴後時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇 	曇 	
降水確率(%)	-/10/30/20	0/10/30/20	30	30	30	40	40	
信頼度	-	-	C	B	B	C	C	
山形 気温 (°C)	最高	36	37	33 (31~36)	36 (33~38)	36 (32~38)	34 (31~37)	35 (30~37)
	最低	-	24	24 (23~26)	24 (22~26)	24 (22~26)	24 (22~26)	24 (21~26)
向こう一週間（今日から6日先まで）の平年値								
山形	降水量の7日間合計			最低気温		最高気温		
	平年並 8 - 29mm			21.7°C		31.5°C		

## ◎ 当面の技術対策

### (1) きめ細かな水管理の徹底

- ・ 穂揃期までは、湛水状態を保ちます。
- ・ 猛暑条件下では、根の機能低下が著しいので、穂揃期以降は、きめ細かに間断かん水、飽水管理を徹底して根の機能維持を図りましょう。
- ・ 出穂後6～10日頃の高温が最も胴割粒の発生に影響します(図1)。水を張ったままにはせず、冷たい水との入れ替え等によるイネ群落内の温度の低下に努めましょう。
- ・ 出穂後20日間の平均気温が28°C以上、最低気温が24°C以上と高い場合、白未熟粒の発生が増加します(「はえぬき」H11新しい技術情報)。間断かん水、飽水管理等を徹底しましょう。

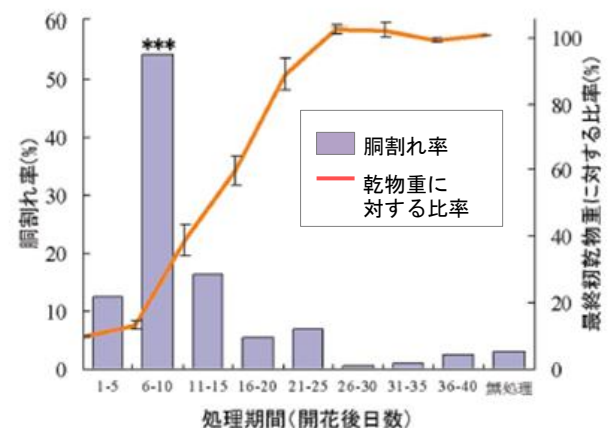


図1 高温処理した水稻玄米の胴割れ率と  
籾乾物重の推移 (H16年 東北農研)

### (2) 斑点米カメムシ類防除の徹底

- ・ 斑点米カメムシ類の発生は、平年より多くなっています(7月21日 注意報第2号発表)。穂揃期及び穂揃期7～10日後の2回の基本防除を徹底しましょう。
- ・ 基本防除後も水田内で斑点米カメムシ類の生息が確認された場合は、防除を追加します。

**農作業事故と熱中症に十分注意してください！**

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！